

本物の鍼灸だけに許される領域

真
っ
向
治
療。
。

中国伝統医学『中国鍼』を極める

秋山鍼灸院。



西洋医学は人類の英知の結集。

鍼灸医学は神様からの贈りもの。

秋山鍼灸院

検索

Click!



秋山鍼灸院。

受付時間 要予約

月・水・金 9:00～13:00 14:30～18:30

火・土 9:00～13:00 14:30～17:00

木 9:00～11:30

休診日 日・祝祭日

北九州市若松区白山1-18-14

TEL/FAX 093-771-8880

こんな治療をしています。

評価の基準

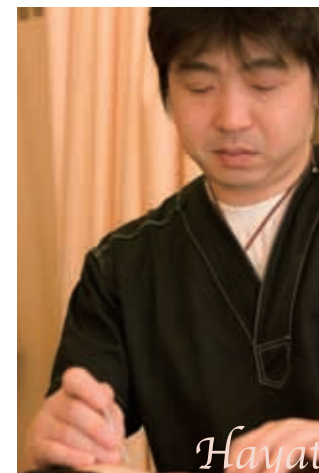
- 得意!** 鼻歌交じりでがんばっちゃう♪ **レギュラー!** 鍼灸では定番♪
- 好評!** 患者様より喜びの声多数♪♪ **難!** 長期戦覚悟!一緒にがんばろう!!
- 人気!** うふふ、リピート率高いよ♪ **時!** 時間! 早期決戦! 即御来院を!!
- 意外!** え?こんな症状にも鍼灸なんだ! **有効!** 症状改善に有効!!

便秘  便秘は5種類に分けて治療していきます!	小児喘息  お灸と全身治療の最強タッグでお任せ!	眼精疲労  体質(肝・腎)改善で根本治療!	緑内障  多数実績あり!結果は比較的実感しやすい疾患です!	感覚器系
クローン病  症状緩和第一! 焦らずゆっくり改善へ!	蓄膿症  体質改善!副鼻腔の通りを良くし、膿のできにくい体質へ。	呼吸器系	白内障  治療後の爽快感はありますが、完治は難しい疾患です。	
潰瘍性大腸炎  症状緩和第一! 焦らずゆっくり改善へ!	消化器系		風邪  症状の軽減と終息までの行程が早まるよう促します!	飛蚊症  目の周りの血流を改善していきます!
過敏性腸症候群  ストレス起因多! 自律神経調整で改善へ!		慢性胃炎  自律神経の調整で胃腸が正常に働くよう促します!	喘息  お灸と全身治療の最強タッグで治療します!	近視  自主性を持ったお子様治療が主!一緒にがんばりましょう。
直腸障害  原因不明なら、腰起因を疑い治療します!	慢性肝炎  原因不明で肝臓の数値が高い方など、お灸が効果的です!	花粉症  効果を実感し易い疾患ですが、飛散量の多い時は若干効果が緩やかになります!	ドライアイ  血流を良くすることで目の乾燥を改善していきます!	めまい  原因よりの的確に判断致します!

秋山流について 关于秋山流

理論が最初にあるものではありません。
 患者さんを、
 または患部を診ると、
 勝手に手がそこへいく。
 必要なツボ(経穴)が、頭の中にぼんやりと
 順番に浮かんで来る。
 鍼をさすと、その深さ・角度、
 狙う5ミリくらいの対象が頭に浮かぶ。
 そこに鍼を打つ。
 治る。

それを中医学、西洋医学の言葉を借りて説明したものが「秋山流」です。



Hayato Akiyama
































秋山 勇人

社団法人全日本鍼灸マッソージ師会会員
 社団法人福岡県鍼灸マッソージ師会会員
 中国伝統医学鍼灸研究会「靈枢2001」主催
 中国医学研究会「みらい」会員
 中国医学産婦人科研究会「みそら」主催

上海中医药大学に5年間留学。
 中国鍼灸と漢方を学び、
 日本人二人目の卒業生として、中国中醫師免許取得。
 帰国後、東京衛生学園にて、日本鍼灸師免許取得。
 2002年8月、「秋山鍼灸院」開院。

Message

私も治療家は、患者さんの症状をいかに的確に
 診断・判断できるかが勝負です。
 患者さんの症状から「ツボの選択」、「鍼の数」、
 「鍼を打つ深さ」、「刺激の度合い」などを
 イメージして鍼を打つ。
 それは繊細さの中にも瞬時の判断力を求められる、
 まさに『センス』の世界と言えます。
 当院では、伝統の中国鍼灸に、
 日本のきめ細やかなスタイルを融合し、
 本物の鍼灸にしかできない「最高の治療」を目指し、
 日々、真つ向治療に取り組んでいます。

ストレス  好 快調実感！カラダもココロもスッキリ軽く！	脱毛  意 根気が必要です。粘り強く治療に挑める方へ！	胸郭出口症候群  得 お任せ！鍼治療の領域！プロスポーツ選手もお気軽に！	事故ムチウチ  得時 一週間以内に治療を開始できれば、後遺症をほとんど残しません！	坐骨神経痛  得レ 腰神経起因の症状多し。腰から治療します！
イライラ  好 快調実感！カラダもココロもスッキリ軽く！	にきびの灸  好 効果大のお灸治療！	肋間神経痛  得好 お任せ！肋骨の骨折や後遺症もどうぞ！	寝ちがい  レ お任せ！頸椎症、頸椎ヘルニアの場合が多い。	椎間板ヘルニア  得難 程度の違いはありますが、歩いて来院可能な場合、10回位の治療が目安です。
精力減退  好 コンディション向上！密かな結果、出ています！	いぼの灸  レ 効果大のお灸治療！	変形性股関節症  好難 じっくり改善！股関節骨頭壊死の方でも回復が期待できます。	変形性膝関節症  得好 痛みを和らげると同時に関節軟骨の再生を促します！！	脊柱管狭窄症  得難 「秋山流」看板治療
うつ  有 患者様の「良くなりしたい！」という御意思に全力で協力致します！	産後のお腹のたるみ  好 効果必至！早く試せば良かったと嬉しいお声多数！	単径ヘルニア(脱腸)  好 本来あるべき場所へ、腸の戻りをサポート！	半月板損傷  得 お灸の効果大！	頸椎症  得レ お任せ！改善必至！「秋山流」看板治療です！
不安神経症  有 心落ち着く治療にて、焦らずゆっくり改善へ！！	アトピー  好 副作用なく自然な回復へ導きます！	美容系		骨折  好 骨接ぎ・整復後の痛みを軽減し、回復の速度をぐんと上げます！
痔  好 特効穴有り！ご相談下さい！（痔瘻は治療困難。）	その他		中医美容鍼灸  人 老若男女問わず、人気です！	スポーツ障害  得好 ど〜んとお任せ！必殺痛止人 秋山。プロの腕をお見せします！
不眠  好 効果有り！心落ち着く治療にて、焦らずゆっくり改善へ！！	慢性疲労  得 五臓六腑、気血津液を調整、心も体もすっきり！	身長を伸ばす針  意 意外な効果に期待！試す価値有り！	捻挫  得 無理してこじらせないうちに、早期来院を！	腱鞘炎  得時 早期決戦！早期来院で期待値UP！

逆子  得好 9割以上改善しております！最善32週〜、最高38週。	頭痛  好レ 頭痛のタイプごと5種類に分け治療を行います！	複視  好難 難しい疾患ですが、焦らずじっくり改善可能！	自己免疫系		泌尿器系	
生理不順  レ 体質に合わせて対応させていただきます！	顔面神経麻痺  得時 早期決戦！！絶対早期！一刻も早く御来院を！！	認知症  得難 軽度の段階、お灸効果大！	リウマチ  得難 「秋山流」看板治療！焦らず改善！！	頻尿  好 原因は様々ですが、腰疾患に起因の可能性もあります。		
不妊症  好 体調を改善することにより本来の機能の正常化を促します。9割効果挙げています！	繊維筋痛症  好難 頸椎症と腰神経症の合併の原因が多し。結果良好です！	てんかん  得難 じっくり改善。お灸の効果が高いです！	膠原病  得難 特にシェーグレンには良い結果を得ております！	膀胱炎  好 細菌感染ではないものに限りません。		
安産の灸  好 「健康」＝「安産」。母体の体調を万全に導きます！	三叉神経痛  好時 時間勝負！早期治療なら神経痛が残りにくいです！	神経系		脳神経系		
整形外科系		婦人科系		各種神経痛  レ 根本治療で痛みをKO！即効性あり！	脳出血  レ難 醒脳開竅法を用いて、ゆっくり改善！	腎盂腎炎  好 お灸の効果大！
慢性腰痛  得レ お任せ！治療数・治療実績・治療効果、どれをとってもNO.1！	生理痛  レ 体質に合わせて対応、自然に体調がよくなります！	歯痛  好 虫歯起因の痛み以外に効果あり！	脳こうそく  レ難 醒脳開竅法を用いて、ゆっくり改善！	慢性腎炎  得難 お灸の効果大！じっくり治療でお任せ！		
ぎっくり腰  得レ お任せ！即効改善！その場で実感してください！	不正出血  好 体質に合わせて対応、体調と一緒に良くなります！	帯状疱疹  好時 早期治療なら神経痛が残りにくいです！	事故後遺症  レ難 頭皮鍼を用いて、ゆっくり改善！	尿蛋白  得 お灸の効果大！お任せ！		

腰痛症



腰痛症

「腰痛」には、ぎっくり腰・関節性腰痛・椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症等があり、それぞれアプローチの仕方が違います。まず、原因について述べましょう。

ぎっくり腰は、「筋膜の炎症」です。椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症等は、骨格に異変がおき、その為に腰の神経が圧迫されて、痛みやしびれが生じるのです。このように、原因も異なり、「腰痛」と一言で表現してもそれぞれ全く異なるものだとご理解いただけるでしょう。

秋山流では、どの「腰痛」でも自信を持って治療致します。特に腰から足にかけての痛みやしびれの治療は秋山流の真骨頂です！ど〜んと、お任せ下さいね。

【勇人くんの知恵袋】

中医学では腰痛と内臓は深いつながりがあると考えます。腰は腎にとって家にあたり、腎が丈夫でないと腰も弱くなります。住む家(腰)が傷んでしまうと、人(腎)は元気でいられずに、弱っちゃいますよね？その他に、「腎は骨を養い、脾は筋肉を、肝は靭帯を養う。」という表現もあります。この場合の「養う」とは、「育む」という意味です。

内臓と筋骨は切っても切り離せない存在なんだよと、中医学は教えてくれています。

脊椎管狭窄症



脊椎管狭窄症

腰部の痛みや痺れの続く「脊椎管狭窄症」は、「椎間板ヘルニア」に症状が似ています。本当に辛いものですね。しかし、「椎間板ヘルニア」が「急性疾患」なのに対し、「脊椎管狭窄症」は年齢と共に積み重ねられて起こる「慢性疾患」という違いがあります。そして何より、「脊椎管狭窄症」は、立ち止まったり、しゃがんだりして、休みながら少しずつでなければ、歩行を続けることができない「間欠性跛行(かんけつせいはこう)」と言う症状が最大の特徴です。椎間板は、椎骨と椎骨の間にあり、クッションの役割を果たすものです。硬い繊維輪とゼリー状の髄液で構成されている椎間板は、お饅頭(皮=繊維輪・あんこ=髄核)をイメージすると判りやすいでしょう。「椎間板ヘルニア」とは、椎間板の繊維輪(お饅頭の皮)に亀裂が生じ、髄核(あんこ)が繊維輪を破って飛び出し、神経などを圧迫する事により、激しい痛みや痺れなどの症状を引き起こすものです。40代になってくると、椎間板は徐々に水気を失い薄くなっていき、ゼリー状だった髄核も柔軟性を失い、飛び出してこなくなります。従って、「椎間板ヘルニア」は起こりにくくなりますが、かわりに「脊椎管狭窄症」が起こりやすくなります。「脊椎管狭窄症」は、「椎間板ヘルニア」の発症率が低下する50代から多くみられるようになってくるのです。加齢と共に椎間板が薄くなってくると、腰椎を守っている靭帯が弛み、そこにカルシウム等が沈着し、「骨棘(こつきょく)」という骨のてっぺりを形成します。それが神経を圧迫し、辛い痛みや痺れを発生してしまうのです。悲しいことに、大半の人は「脊椎管狭窄症」になってしまいます。皆、歳を取りますね。極論、誰もが予備軍であると言える腰痛症状だと私は思います。「脊椎管狭窄症」は、当院でも最も多く扱っている疾患であり、症例は予備軍も含め1000例を越えるほどです。鍼灸治療は、痛みや痺れ等の不快な症状を取り除き、歩行しやすくしていきます。手術をお考えの方、ちょっと待って！鍼灸治療を試してみませんか？

頸椎症



頸椎症

「頸椎症」は、頸部の筋肉、靭帯、椎間板、関節包などの損傷で起こります。それに、神経根、脊髄、自律神経等の症状が付け加わることがあります。「頸椎症」は、総じて大きく4種類の型に分類することができます。

- ①『頸椎捻挫型』=頭痛、頸部痛。頸椎運動が制限される。
- ②『頸神経根症状型』=後頭部痛、頸部、背部、上腕から手指にわたる痛み、痺れや脱力感。頸椎運動障害等。
- ③『バレーリュウ症状型』=頭痛、頭重感、めまい、耳鳴り、難聴、悪心、嘔吐、眼振、眼痛、霧視等の自律神経症状の目立つもの。
- ④『脊髄病状型』=四肢の不全麻痺、歩行障害、筋肉萎縮、膀胱直腸障害等。

鍼灸治療では局所の筋肉及び靭帯の腫脹、疼痛を緩和し、損傷している関節軟骨の再生を早めることにより、自然治癒を促します。特に、③の『バレーリュウ症状』によって起こる症状は、メニエル症候群と重複しているために、メニエルと診断されたり、若しくはメニエルだと思い込んで悩まれる患者様がかなり多くいらっしゃいます。この場合、原因はあくまで頸椎にありますから、頸椎の治療が必要です。めまい・耳鳴り・突発性難聴・悪心・嘔吐に代表されるメニエル症状の他に、肩・頸部の凝り・後頭部頭痛・目の疲れ・手の痺れや痛み等があるのは、「頸椎症」の重要なサインです。

鍼灸は、上記4分類(①~④)、どの症状でも治療が可能です。頸椎の関節はとても小さい為、治療には細心の注意と、ミリ単位の正確性が要求されます。まさに「ピンポイント治療」。繊細なアプローチが可能な鍼灸治療は、「頸椎症」にとっても理想的な治療法と言えるでしょう。

肩酸



肩こり

頸椎の関節が炎症を起こして腫れたり、変形する事で神経が圧迫され、その神経の走行しているところの筋肉が硬くなったり痛くなる事がいわゆる肩こりです。すなわち、肩こりは元々頸椎症の症状の一つと考えるべきではないでしょうか。

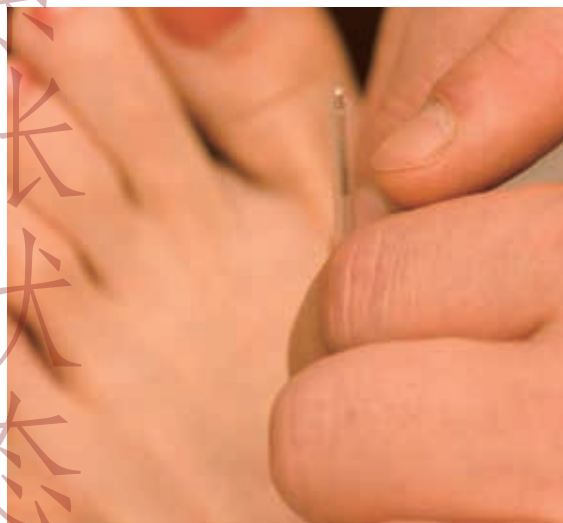
従って、原因である頸椎の治療をしないと肩こりは改善されません。

肩の痛いところだけを治療しても、そのときのみ心地良くなりますが、根本的には改善されていません。肩の痛む部分を強く揉んだりすることで、返って筋肉が硬くなる事もあります。

長年肩こりで悩んでいる方が多くいらっしゃいます。それは肩の筋肉ばかりで原因となる頸椎の治療をしていないからだとは思いますが。

的確な治療をすれば、肩こりは改善されます。本来、肩こりの治療自体は単純なものです。

頸椎へアプローチする鍼灸治療で、しつこい肩こりときっぱり決別しませんか？



ストレス・イライラ

ストレス社会と呼ばれて久しい現代。日々の生活の中で、ストレスをゼロにすることは無理なことでしょう。便利な生活を送るため、社会は多くの「自然」を破壊してきました。私達人間も、「自然」の一部です。自然とかけ離れた生活を当たり前のように送っているのだから、本能や遺伝子レベルに刻み込まれた「自然」へ回帰したい意思が働き、「拒否反応」を示している、そしてストレスを解消する術も失われてしまっているのだと、私は思います。

ストレスを溜めないためには、次の日に持ち越さない事が大切です。鍼灸治療はそのためのお手伝いをすることが出来ます。

イライラ、カッカすることを中医学では「肝火」と呼び、その「肝火」を取り除くことを「平肝」といいます。そして邪氣(悪いもの、つまり「肝火」もその一種ですね。)を取り除くことを「瀉法(しゃほう)」といいます。「瀉法」は悪いものをただ根こそぎ取り除くので、治療の効果も比較的早く実感できます。大多数の患者様が治療を終えてすぐに、「スーッとした!」、「何かついてるものが落ちたみたい。」「軽くなった!」とおっしゃるのです!!

特に、「ストレス世代」と呼ばれる働き盛りの皆様に受けていただきたい治療です。



メニエル

メニエルの治療に来られる患者さんのほとんどに、頸椎症(首のこり、肩こり、後頭部の痛み)の症状がみられます。その頸椎症が原因となり、頸部を通る自律神経が圧迫され、内耳の病変を起こしているのだと考えます。

頸椎症の中には、「バレーリュー症状」と言われるものがあります。それは頭痛・頭重感・めまい・耳鳴り・難聴・悪心・嘔吐・眼振・眼痛・霧視等の自律神経症状の目立つものと定義づけられています。実は、メニエルと言われている方のほとんどがこの「バレーリュー症状」ではないかと私には思われてしょうがありません。

現に、50人近くのメニエル患者様を診てきましたが、頸椎症の治療を取り入れることで、ほぼ全員が2~5回の治療で症状改善しています。勿論、症状が良くなっても仕事でつい無理をしたり、首に負担の掛かる動作を続けたりしていると再発することもあります。それは頸椎が未だ完全に良くはなっていないからであり、鍼灸治療を継続することで頸椎の関節軟骨も再生してきます。従って、メニエル症状も自然に治癒します。

メニエルでお悩みの方に、是非ともお勧めしたい治療です。



緑内障

「緑内障」は、水の通りが悪くなって起こる病気です。眼球を覆う「房水」の流れや排出が悪くなることによって、眼圧が上がり、視神経が圧迫されることで引き起こる視野狭窄や視力低下を招く病気であり、場合によっては失明に至ることもあります。

また、精神面にも影響されやすく、心身の疲労や、クヨクヨ、イライラすること等によって、悪化する場合があります。

意外にも、鍼灸治療は緑内障に対してかなり有効なのです。

局所の血液や水の流れを改善していくというのは、鍼灸の得意分野です。ピンポイントで血流の改善を図り、眼圧を下げる事が可能です。

同時に、たまったストレスもスキッと解消できますよ。緑内障でお悩みの方、鍼灸治療を、試してみませんか?



膝関節炎

関節軟骨というのは、実に面白く、今日一日使ってすり減った分は、夜のうちに再生(修復)するようにできています。しかし、残念ながら加齢とともに再生(修復)速度が減速し、磨耗の速さに追いつけなくなってきます。軟骨が少しずつ減ってしまうのです。軟骨が磨り減っていくと、軟骨の表面はガサガサになり炎症がおきて痛みを生じます。更にひどくなると「水が溜まる」という事になるのです。その水の中には、「マクロファージ」という悪いもの(汚物)を食べてきれいにしてくれる細胞がたくさんいるのです。「マクロファージ」はカラダの廃棄物処理を担っている細胞のことで、膝関節においてはガザガザになった関節表面をツルツとなるまで食べて、関節軟骨が再生しやすい状態に導いてくれます。だから、患部に水が溜まるというわけです。「マクロファージ」は仕事を終わると、速やかに排出されます。ピンチにさっと現れて善行をなし、肅々と撤退する「マクロファージ」は、カラダにとって善良な存在…まさに正義の味方なのです。しかしながら、水が溜まると激しい痛みを発します。痛みの為に嫌われている哀しいヒーローです。水を抜くと一時的に痛みは解消されますが、正義の味方「マクロファージ」に活躍してもらえないこととなります。関節のダメージはそのままということですね。「痛み」は辛いものです。しかし、そもそも、「痛み」というのは「(痛む部位を)休めて治しなさい!」というカラダからのサインなのです。鍼灸治療を行うと、「マクロファージ」が早めに仕事を終え、水が減っていくのが分かります。鍼灸治療は、水の溜まった状態の時は、より一層「マクロファージ」の活性を高めるよう援助しながら、患部が必要以上に腫れるのを防ぎ、痛みを軽減させます。その上、軟骨の再生を早めて元の健康な関節に戻す様働きかけます。

順産



安産

鍼灸の世界には安産のお灸というものがあります。妊娠5ヶ月目にはいると足首の上3寸(指4本分)にある『三陰交』というツボにお灸をしていきます。このお灸をすると、おなかの赤ちゃんが元気に動くのが、お母さんにも感じられると思います。『三陰交』の効能は、子宮に活力を与え、胎児の血流をよくし、無駄な水分を排除することです。その結果、母子共々むくみのない状態になってゆきます。漢方用語に、「小さく産んで、大きく育てる。」という言葉があります。小さく産むとは、赤ちゃんが無駄な水分でむくむことなく、引き締まった元気な状態で生まれてくることを言います。このお灸は、母体にも良い働きをします。お母さん自身も足・腰がむくまず、腰痛・冷え性そして妊娠中毒症の予防にもなるのです。

「安産の灸」は、手軽で副作用の無い安全な方法として、遥か昔から行われているものです。妊娠～出産に至る過程に於いてとても重要なポイントとなる「腰」。まさにカラダの「要」です。腸や膀胱、子宮にも、腰から神経が出ているのです。元々、腰痛を抱えていたり、腰が弱い妊婦さんは、安定期にあたる妊娠5カ月ごろから、腰に対する鍼灸治療を安心して行えるようになりますよ。

悪い条件はすべて取り除き、心身を最善な状態へ導き、母子共々ベストな状態で出産に望むことが、安産に繋がります。

鍼灸治療は、そのお手伝いをさせていただきます。

逆子

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、鍼灸には逆子の特効治療があります。

それは、「至陰の灸」。両方の足の小指の外側にお灸をするのです。

妊婦さんの状態によって場合によっては、「至陰の灸」に加えて行う治療があります。

一番重要視しなければいけないものは、腰です。腰の治療をするだけでも逆子が治っていくことがよくあります。

東洋医学の診察法である舌診・脈診をして体調を調えることも必要です。

腰または全身調節、そして特効穴である「至陰の灸」の順で治療を進めてゆけば、効果絶大です。これまでの実績では、9割方で治ることが期待できますよ。

ベストな逆子の治療期間は30～32週目頃なので、やはり、早めにご来院していただくと、確率がぐ～んと高くなりますよ。



逆生

不妊

不妊

不妊は「避妊なしで2年以内に妊娠に至れない状態」と定義されます。

中国の古典には、「少腹(下腹部)が冷えた人は、妊娠しない」と記載されており、たとえ受精し着床しても、お腹が冷えた状態では、胎児が育っていかないのです。「今、この状態で妊娠しても、赤ちゃんが元気に育たないよ。」と身体(ホルモン)が教えてくれているのでしょうか。このような状態では、ホルモンの働きはとても鈍く、排卵・生理がなかなか来ない状態です。そのような時、私はまずお母さんの身体を、良い状態にもっていくことが一番だと考えます。無理に妊娠させることは考えません。お母さんの体調が調えば、妊娠に必要なホルモンも働きだし、自然に妊娠出来るのです。

鍼灸治療では、冷えがあれば温める、気血(体力)が不足の場合は気血を補う、ストレスがあればとってあげる、と実にシンプルな方法で調べていきます。実際、色々な産婦人科をまわってきて最終的に私のところへ来院された患者様も、このシンプルな方法で妊娠の結果を得ています。その確率は9割近く！びっくりでしょう？

最も重要なツボは、『三陰交』。冷えがある場合には、『命門・関元』。精神的ストレスがあれば『陽陵泉・太衝』を用います。私は、特に『子宮』というツボをよく使います。そのツボは卵巣の部位に相当し、その部位を押すと圧痛がみられることがよくあります。

また、腰部の疾患からおこるものもあります。妊娠に大切な臓器である、子宮や卵巣に栄養を送る血管や神経は、腰から枝分かれしているためです。

腰が悪いと、臓器へ栄養を送る大事なパイプラインが圧迫され血行障害を引き起こし、不妊の原因となります。でもご安心あれ。鍼灸治療で改善は可能です。

これらの症状は、鍼灸治療のもっとも得意とする分野なのです。

生理不順

中医学では、適齢期の女性で生理が来ないことを閉経といます。西洋医学で言う閉経とは少し意味が違いますね。生理の周期の乱れについては、遅く来るものを経遅、早く来るものを経早、不順なものを経乱と呼びます。その通り、大きく3つに分けられ、下記の要因が考えられます。

①《経遅》＝寒邪(＝冷え)によるものが多いです。また、もう一つの原因として、ストレスを我慢することによるものもあります。

②《経早》＝辛いもの好きの人や、身体に熱を溜め込みやすい人など熱邪によるもの、ストレスによるイライラ・カッカなどにより起こります。

③《経乱》＝落ち込んだり、カッカしたりする波のある重度なストレスにより引き起こされます。

生理不順で多くを占めるのは、冷えからくるものだと私は思います。また、この冷えのタイプが、不妊の一番の原因となっているのです。重症になると、生理が来なくなることもあります。

治療法としましては、冷えタイプの場合、少腹(＝下腹)や下肢を温めることがとにかく肝要です。それにはお灸がもっとも効果的なのです。

【勇人くんの知恵袋】

☆女性疾患で使われる鍼灸治療法☆

①お灸

■「腕灸」＝(陶器製の灸器により、穏やかな温かさで、お腹を深部からじんわり温めます。)

■「灸頭鍼」＝(鍼の上にお灸をのせ、灸の熱をツボの深い所へ伝えます。)

■「温熱灸」＝(温めたいポイント(＝ツボ)を、小さなお灸を据えることでピンポイントで温めていきます。)

②鍼を打つのに使うツボ

■「三陰交」…血液疾患の重要なツボ。全身の血流を調節していく効果あり。また、ツボの流れる道(＝経絡)の中でも、生殖機能に深く関係のある経絡(腎経・肝経・脾経等)が通っており、よく用いられるツボです。

■「関元」…少腹(下腹)の一番大切なところで、全身を元気にして、身体を温めていく効果あり。

■「太衝」…ココロに働きかけストレスに作用し、ストレスの調節をします。

自宅で安心、出張鍼灸治療

こんな悩み抱えてませんか？

痛みの軽減
寝たきり予防
日常生活動作の
サポートに!!

- 「痛みがあって1人で外出できない」
- 「身体が思うように動かせない」
- 「筋力が衰え身体が痩せてきた」
- 「リハビリに通いたいけど最近歩くことも難しくなってきた」
- 「痛みのせいで寝付きが悪い」

訪問鍼灸を取り入れてみると

ご家族から「最近おじいちゃんが元気になった」、患者さん御本人からも「力が入らなくて歩きづらかった足に少しずつ力が入るようになった！」などの喜びの声が届いています。

なかなか来院できない患者さんの痛みや麻痺に対して、少しでも楽になるよう、今より悪くならないように治療するのが訪問鍼灸です。

患者さん一人一人に合わせた治療を全力でサポート致します。約20～30分の治療ですので気軽に治療を受けていただくことが可能です。

自宅以外にも介護施設やグループホーム・老人ホームなどでも行っており、施設の方やご家族にも「以前より元気になってきた!!」などと大変喜ばれています。医師の同意書があれば健康保険による早期の訪問鍼灸で対応いたします。必要書類はこちらで用意します。

お気軽にご相談下さい。

※ご利用には医師の同意が必要となります。

※介護保険の利用はしませんので、
介護保険のサービス負担になりません。



美容



中医美容鍼灸

中医美容鍼灸のコンセプトは「自然な美しさ」です。

「中医美容学」の理論では、「健康」と「美しさ」はイコール(同じ)であると説きます。日本にも、「健康美」という言葉がありますよね？健康な人は美しい…健康に基づく美を獲得することを、「中医美容鍼灸」は第一とするのです。

「鍼灸」の理論と手法を用いて、心身の健康を維持増進・回復し、「健康＝美しさ」へ導くことが可能なのです。

『秋山鍼灸院。』では、通常鍼灸治療と同じく、まずは健康なカラダへ整えるべく、五臓のバランスを診ます。そして、気になるお顔の箇所へ繊細なアプローチをしながら、気・血・津液の流れを調整、自律神経をコントロールし、新陳代謝を活性化して健康的な顔色・肌状態へ導きます。また、鍼により表情筋に直接働きかけることで、筋肉をほぐして血流を良くし、コラーゲンやエラスチン等のお肌の弾力要素の分泌を高め、自ら美しくなる力を最大限に引き出します。

特にリフトアップ効果には定評があり、施術後即実感できる方も多く、大変喜ばれております。

ほうれい線・小じわの解消は、繊細なピンポイントアプローチのできる鍼ならではの強みでしょう。

お顔にある経穴を使って整えていきますので、フェイシャルトリートメントやリンパマッサージでお顔のむくみを処理した時よりも、効果が長期間持続することも特長です。

ストレスや不規則な生活に起因するニキビ、アトピー等お肌のトラブルにも対応できます。

おろ 後産・悪露(子宮回復)

「後産」とは、出産後へその緒を切ったあとに、陣痛がおこり子宮から胎盤が剥がれ出ることです。

出産後に子宮壁から剥がれた胎盤(役割を終えた胎盤)は、子宮の下部や腔内に留まっている為、陣痛～いきむことにより、母体外へ排出するために起こります。後産を終えた後、子宮に残っている残留物や血液、濁った液体等を「悪露(おろ)」と呼びます。「悪露(おろ)」が体内に残っていると血が滞ってしまい母体に悪影響を及ぼしてしまいます。

鍼灸治療では、「三陰交」というツボを刺激することで、滞った血を体外へ排出し、スッキリとさせる治療を行います。

また、出産後、腹部はふわふわになりますよね？はち切れんばかりに膨らんだお腹。赤ちゃんが出てきた後、しぼんだ風船のようになってしまうのは当然です。…しかし、やっぱり気になりますよね？ふわふわお腹の改善に、鍼灸治療がとても効果的なものをご存知ですか？

実は、下腹部の血液循環の悪さが原因なのです。鍼灸治療で下腹部の血流を良くしていきましょう。

1～2回の鍼灸治療で効果が現れる方もいらっしゃると思います！

是非、御気軽にご相談下さい。

なぜ鍼灸で症状が改善されたり治癒したりするのか？

一、免疫力を高める

人間が本来持っている自然治癒力を最大限に引き出すことで免疫力を高め、回復スピードを高めます。

二、めぐりを良くする

血液、体液、リンパ液などの滞りをなくすことで痛みを改善します。

三、リラクセス効果

ツボを刺激し、内臓機能を調整したり、リラクセス効果などを高めることでストレスからくる症状を心・身体の両面からケアします。

四、温める

身体を温めることで、痛みや強ばりを改善したり、婦人系の病気などにも効果を発揮します。

こだわ拘泥。

当院には「最高の治療」をベストな環境でご提供するためのこだわりがあります。「治療」は時には痛いもの。だからこそ妥協できないものがあります。

当院で使用する鍼は全て使い捨てです。ウィルス感染などの心配は全くありませんので、ご安心ください。



使い捨て鍼

譲れないもの。

「痛み」は辛いものです。しかし、「痛み」は「痛む部位を休めて治さない！」というカラダからのサインでもあります。無碍には出来ないものでもありますね。さて、中医学では「痛み」をどう考えるかお話ししましょう。中国では「不通則痛（＝通じなければ痛みを発する）」という言葉のとおり、カラダを流れている血液・リンパ・体液の正常な流れが堰き止められると「痛み」になると考えます。従って、治療はその流れを正常に戻すように働きかけるのです。理論は単純なのですが、実際に患者様の訴える「痛み」を受け止めるにあたり、その疾患ごと、そして患者様個々の容態等、様々な条件の相違を鑑みて、即座に分析し判断する「治療センス」がとても大切です。「秋山鍼灸院。」では、どんな「痛み」にも的確かつ適正な対処法で絶対に食い止めるという確固たる信念、そして「痛み」が本当に伝えたいこと（カラダからのサイン）を決して見逃さないという確信を持って、日々治療に向かっております。これぞ、「真つ向治療」の心髄であり、秋山流の神髄!! 「痛み」に対して断じて譲りません！

【勇人くんの知恵袋】

- 「痛み止め」と「治す」ことのお話。
- 運動をした後、筋肉・関節を冷やす、打撲後（外傷）の炎症を冷やすことを、アイシングとい
- いますね。氷や冷却材を短時間（15分程度）患
- 部に当て、患部の熱をとることにより、炎症が広
- がるのを防ぐ方法です。これは「痛み止め」とい
- うことになります。
- しかし、このアイシング、炎症を抑制しますが、同時に患部への血流も抑制されてしまうも
- のです。故に、炎症が取れた後は努めて温めて
- 血流を良くし、患部に栄養が届きやすくします。
- 人間が本来持っている「自然治癒」を促し、高め
- るのです。これが「治す」ということになります。
- 「痛み止め」と「治す」こと。どちらも重要な治
- 療要素です。

灸療法御指南

身近な存在のお灸。

皆さんが想像している以上に奥が深く、絶大な効果をもたらす治療法なのです。例えば、有名な「三里の灸」。陽明胃経にある「足三里」というツボにお灸を据えます。陽明胃経は、身体の前

面、目から足の第2指まで流れており、この経絡の流れる部位にある胃腸、顔面、目、鼻、口、歯痛、精神等を治療できる「足三里」のツボ。このツボ（＝穴）は「四総穴」のひとつで、肚（と）腹（ふく）（胃腸病）を主に治し、身体の元気を高め、疲労を回復させます。効能が期待できる疾病としては、下肢疾患、急性胃腸炎、嘔吐下痢、盲腸、顔面（鼻炎、蓄膿、鼻詰まり、味覚障害）、等々。多様にあります。

「三里の灸」は、日本古来より、日常を健やかに生きるため、ごく自然に活用されていたようです。吉田兼好の記した『徒然草』の一節には、「四十以後の人、身に灸を加へて三里を焼がざれば、上気の事あり。必ず灸すべし。」（四十以後の人は、からだにお灸をすえて、足の三里にもすえておかないと、のぼせたり、頭に血が上りやすいので足の三里にお灸をすえなさい。）とあります。高血圧、脳卒中、ヒステリー、顔のふるえ、めまい、赤ら顔、頭痛パーキンソンなどがそれにあたると思います。

松尾芭蕉の紀行文「奥の細道」では、お灸についての俳句が詠まれています。

「もゝ引きの破をつづり、笠の緒を付けかえて、三里に灸すゆるより松島の月」

足三里に灸をすえ、旅の疲れを癒していた芭蕉の様子がうかがえますね。

お隣の国「中国」では「足三里」に鍼や灸をすることを「老母鶏（ろうぼけい）を食べる」と言います。

「足三里」に治療を施すと、雌の親鳥を食べた時のように体力がつくのですよと伝えられており、特に胃腸が弱って体力が低下しているような状態で、大きな効果が期待できます。

「三里の灸」以外にも特効がある灸療法として、「安産の灸」、「不眠の灸」、「裏内庭の灸」（＝食あたりに！）、「闌尾の灸」（＝盲腸に！）、「喘息の灸」、「膝の灸」。

内臓でいえば、「肝の灸」（＝肝臓の数値が高い時等！）、「腎の灸」（＝腎臓の機能低下や尿蛋白等に！）等々、まさに多種多様な様々なレパートリーがあるのです。

古くって新しい、グローバルな鍼灸治療の世界。面白いでしょう？